

路面温度上昇抑制型のILブロックの性能は、表2.6に規定する値とする。

表 2.6 路面温度上昇抑制型 IL ブロックの性能

種類		略号	路面温度上昇抑制値 (°C)	測定方法 JIPEA-TM-14
路面温度上昇 抑制型	普通 IL ブロック	C-N	11.0 以上 (密粒度アスファルト混合物 に対して)	表乾法 (旧 B 法)
	透水性 IL ブロック ¹⁾	C-P		
	保水性 IL ブロック ²⁾	C-M		

注1) 路面温度上昇抑制型透水性ILブロック (C-P) とは、透水係数 1×10^{-4} (m/s) 以上の機能を有するILブロックをさす。

注2) 路面温度上昇抑制型保水性ILブロック (C-M) とは、保水量0.15 (g/cm³)以上かつ吸上げ率が70%以上の機能を有するILブロックをさす。

解 説

- (1) JIS A 5371(プレキャスト無筋コンクリート製品 附属書B(規定)舗装・境界ブロック類 推奨仕様 B-3 インターロッキングブロック)では、種類を普通ILブロックと、透水性ILブロック、保水性ILブロックの3種類に分けている。本要領では、それぞれのILブロックの曲げ強度を交通区分 IL1, IL2で3.0 N/mm²以上、交通区分IL3, IL4, IL5では5.0 N/mm²以上と規定している。
- (2) 植生用 (緑化) ブロックについては、現在さまざまな製品が開発されている。JIS A 5371(プレキャスト無筋コンクリート製品 附属書B(規定)舗装・境界ブロック類 推奨仕様 B-3 インターロッキングブロック)では、2016年に種類への適用がなくなる改正があり、「ブロックに孔及び/又は凹部を設け、植生を目的としたブロックとすることができる」との注記にとどまっている。本要領の植生用 (緑化) ブロックの曲げ強度は、従来から規定して実績のある4.0 N/mm²以上としており、JISに規定していた数値も同じである。圧縮強度は、今回はじめて28.0 N/mm²以上と規定した。曲げ強度との相関関係から規定したものである。なお、各製造会社が個々に形状、寸法、植生部分の空間の開け方などを設計しているので、品質についても併せて個々の仕様を確認されたい。
- (3) 透水係数は、「舗装設計便覧」を参考に規定した。
- (4) 2.2.1 インターロッキングブロックの機能による分類に示すように、近年開発が進んでいる路面温度上昇抑制型を加えた。測定方法は、付録10.9 (JIPEA-TM-14) に準拠した試験を行い、その性能は、路面温度上昇抑制値が密粒度アスファルトコンクリートに対して11.0°C以上とする。当協会では「クールブロックペイブ」認定制度を実施している(付録.3)。当協会が指定した試験機関で評価を行い、品質を満足し当協会が認定すれば、カタログ等で商標登録マーク (クールブロックペイブ®) の使用が認められる。
- (5) ILブロックに要求されるその他の品質として、凍結融解抵抗性があげられる場合がある。普通ILブロック(曲げ強度5.0N/mm²以上)と透水性ILブロック(曲げ強度3.0N/mm²以上)は、全国の寒冷地に多数の施工実績があるが、供用後20年以上経過する現場を含めて凍結融解による被害は報告されていない。また、普通ILブロック(曲げ強度3.0N/mm²以上)と保水性ILブロック(曲げ強度3.0N/mm²以上)の凍結融解抵抗性を北海道での現場暴露試験や室内凍結融解促進試験で評価した研究結果では、これらのILブロックでも実用上十分な凍結融解抵抗性を有するとの報

6.3.2 品質の合格判定値

品質は、合格判定値に合格するものでなければならない。

解 説

- (1) ILブロックの外観検査は、施工時に全数検査を行い、異常のないことを確認しなければならない。
- (2) ILブロックの外観以外の検査は、1,000m² に相当する量を1ロットとし、1ロットから任意に3個のILブロックの抜き取り試験を行い、合格判定値を満足すれば合格とする。この検査で1個だけ適合しないときは再検査ができる。再検査は、そのロットからさらに6個のILブロックを抜き取って試験を行い、6個とも合格判定値を満足すればそのロット全部を合格とする。1個でも適合しなければ、そのロット全部を不合格とする。工事規模によってはILブロックの抜き取り試験は、工場出荷前に実施することができる。

表 6.7 品質の合格判定値の例

種別	項目 (単位)		検査水準A	検査水準B	検査水準C	
			IL1, IL2	IL3	IL4	
路盤	支持力	FWD (mm)	-	-	たわみ量0.8以下	
IL ブ ロ ッ ク 層	透水シート	質量 (g/m ²)	60以上			
		引っ張り強さ (N/cm)	100/5			
	敷砂	最大粒径 (mm)	4.75以下			
		洗い試験	5%以下 (75μmふるい通過量)			
		粗粒率 (FM)	1.5~5.5			
	目地砂	最大粒径 (mm)	2.36以下			
		洗い試験	10%以下 (75μmふるい通過量)			
	IL ブ ロ ッ ク	普通	外観	異常のないこと		
			寸法精度 幅・長さ (mm)	±2.5以内		
			厚さ (mm)	±2.5以内		
			曲げ強度 (N/m ²)	3.0以上 注	5.0以上 注	
		透水性	外観	異常のないこと		
			寸法精度 幅・長さ (mm)	±2.5以内		
			厚さ (mm)	-1.0~4.0以内		
			曲げ強度 (N/m ²)	3.0以上 注	5.0以上 注	
		保水性	透水性 (m/s)	1×10 ⁻⁷		
			外観	異常のないこと		
			寸法精度 幅・長さ (mm)	±2.5以内		
			厚さ (mm)	-1.0~4.0以内		
	路面温度 上昇抑制型	曲げ強度 (N/m ²)	3.0以上 注	5.0以上 注		
		保水量 (g/cm ³)	0.15			
		吸上げ率 (%)	70			
		路面温度上昇抑制性値	8℃以上			
	視覚障害者 誘導用	外観	異常のないこと			
寸法精度 幅・長さ (mm)		±2.5以内				
厚さ (mm)		±2.5以内				
曲げ強度 (N/m ²)		3.0以上 注				

注 曲げ強度 5.0N/mm² 以上のものは圧縮強度 32.0 N/mm² 以上、曲げ強度 3.0N/mm² 以上のものは圧縮強度 17.0 N/mm² 以上とする。

表内：透水性 1×10⁻⁴ 路面温度抑制・・・(℃)、8度 11度以上